

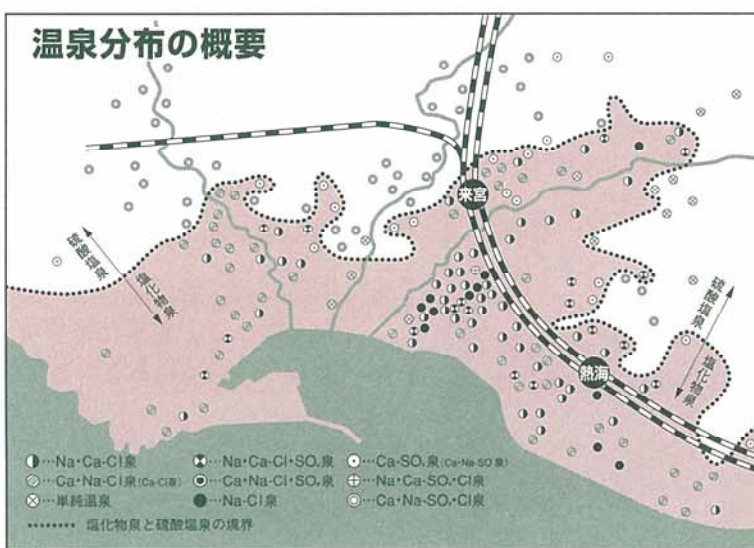
熱海の温泉

A HOT SPRINGS OF ATAMI

熱海温泉の特徴 ご婦人も注目の美肌と痩身効果

塩化物温泉と硫酸塩温泉が約9割を占める熱海温泉は、1日の総湧出量約26,000トンの実力を誇ります。塩分が皮膚を覆い保温効果にすぐれるので、神経痛をはじめ、冷え性などに適します。また、慢性婦人病、慢性皮膚病に適応しており、最近では肌をひきしめ、痩身効果も期待できると言われているので、ご婦人にも注目されている温泉地です。

さらに市内の源泉のほとんどが肌にやさしい弱アルカリ性のため、湯のあたりはとてもやわらかく、美肌効果も実感できるはず。ちなみに最もアルカリ性が高いのはPH(ペーハー)9.6という源泉で、上多賀地区に湧出。成分総量が最も多い源泉は1リットル中、約35グラムの温泉成分が含有されています。これは家庭用浴槽に一般的な入浴剤(1袋30グラム)を約233袋入れたものと同等という“濃さ”です。



JR熱海駅前

足湯「家康の湯」



足湯の効果は手軽に身体を温められることです。局所で温められた血液が全身を循環し、深部体温が上昇するのです。全身浴や半身浴が難しい場合、かぜをひいた時、疲労困憊時などには有効です。また、冷え性の人や肩こり、神経痛、関節痛、筋肉痛、生理痛などにも効果があります。最近では慢性心不全に対して温水浴やサウナ浴による温熱性血管拡張療法の有用性が報告されているので、そのような患者には特に有効です。時間は10分～20分程度で、ときどき少し熱めの湯を足すとより効果的です。(日本醫事新報より)



プロフィール

- 完成年月日 平成15年12月10日完成披露。家康来熱400年記念事業として整備され、熱海温泉組合より熱海市へ寄贈。
- 料 金 無料(同時に10人～15人の利用が可能)
- 利用時間 午前9時～午後4時
- 利用源泉 熱海134号泉
- 温泉利用許可番号 熱保衛第159-3号70 平成15年12月19日
- 泉 質 ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩温泉(低張性・弱アルカリ性・高温泉)
- 浴用の適応症 きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進(平成15年9月17日・財団法人静岡県生活科学検査センター分析済)
- 特 徴 ①間歇泉及び足湯には100%本物の温泉を供給。間歇泉の噴出は、実際の自噴泉と同様のリアリティーを追求しました。
②午後4時以降に足湯部分のお湯を全て抜き、毎翌朝掃除するので清潔。新湯を再び利用開始する“掛け流し”足湯です。
③足湯部分の床には足裏刺激が楽しめる小石を貼り付けてあり、歩行浴も体験できます。
- 問い合わせ 熱海市役所みどり農水課 0557-86-6218・6219

熱海に湧出する温泉の泉質、および適応症と禁忌症

熱海市街地、上多賀地区、下多賀地区、網代温泉、泉地区、初島

泉 質	泉 質 (細分)	適 応 症 (浴 用)	禁 忌 症
塩化物温泉 (67.2%)	ナトリウム・カルシウム-塩化物温泉(29.4%) ナトリウム-塩化物強塩温泉(0.5%) ナトリウム-塩化物温泉(0.5%) ナトリウム・カルシウム-塩化物強塩温泉(0.5%) カルシウム-塩化物温泉(0.5%) カルシウム・ナトリウム-塩化物温泉(24%)	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病	急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴42℃以上の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期)
	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩温泉(2%) カルシウム・ナトリウム-塩化物・硫酸塩温泉(0.5%)	上記の適応症に加え、動脈硬化症	
硫酸塩温泉 (22.5%)	カルシウム-硫酸塩温泉(2.5%) カルシウム・ナトリウム-硫酸塩温泉(2.5%) ナトリウム・カルシウム-硫酸塩温泉(0.5%)	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病	急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴42℃以上の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期)
	カルシウム・ナトリウム-硫酸塩・塩化物温泉(16.1%) ナトリウム・カルシウム-硫酸塩・塩化物温泉(1%)	上記の適応症に加え、虚弱児童、慢性婦人病	
単純温泉 (10.3%)	単純温泉(6.3%) アルカリ性単純温泉(3.9%)	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進	急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴42℃以上の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期)

※ 表中の%は平成元年以降、温泉分析実施204井(伊豆山温泉分含まず)を参考としました

熱海の標準的な源泉は、温泉湧出口等での視覚的試験で、ほとんど無色、透明、弱塩味、微苦味、無臭というものですが、それ以外でもこんな温泉が湧出しています。

温泉の色	温泉の匂い	温泉の味	地 区	PH(平均)	成分総量(平均)	
微黄色	熱海196号泉など	微硫化水素臭(硫黄臭)	泉32号泉など	熱海市街地	7.98	5.19g/kg
微白濁	熱海381号泉など	微泥炭臭	熱海259号泉など	上多賀地区	8.3	12.84
微混弱黄褐色	熱海175号泉など	温泉の味		下多賀地区	8.38	5.89
弱灰白黄色	熱海89号泉など	微金気味	熱海315号泉など	網代地区	7.12	15.68
弱黄褐色	上多賀15号泉など	強塩辛味	網代13号泉など	泉地区	8.24	0.95

熱海温泉の歴史

徳川家康のお気に入り温泉

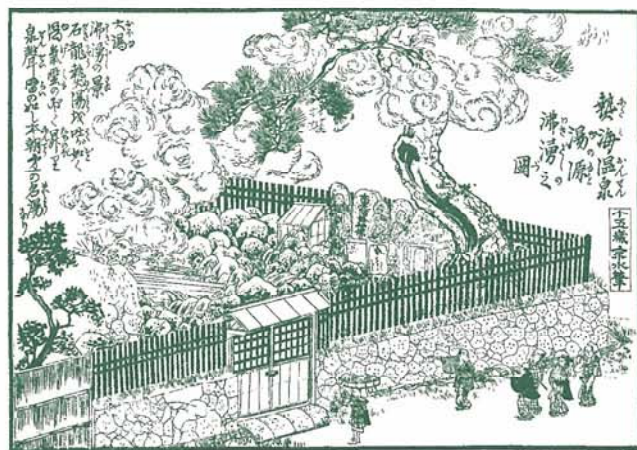
熱海温泉の起源は、今からおよそ1250年前の天平宝字(755~765年)頃、箱根権現の万巻上人が、海中に湧く熱湯によって魚類が焼け死に、甚大な被害を被っていた漁民たちを助けようと志し、祈願によって泉脈を海中から山里へ移したと伝承されています。このことは山東庵京山の書いた「熱海温泉由来」(1830年)にも記述があります。

熱海温泉を愛した著名人で、最も熱海の発展に寄与した一人が徳川幕府初代将軍・徳川家康公です。慶長9(1604)年3月、家康公は義直、頼宣の2人の子供を連れて、7日間熱海に逗留(東照公記等)し、同年9月、京都で病氣療養中の吉川広家(周防・現在の山口県)の見舞いとして熱海のお湯を運ばせました。当時、すでに全国レベルの名湯と知られ、より京都に近い「有馬の湯」ではなく、「熱海の湯」を運ばせたところに、家康公がいかに熱海温泉を気に入ったかが窺い知れます。

この元祖「温泉宅配便」は後に「御汲湯」として歴代徳川将軍に継承され、4代将軍家綱公の時(1667年)、大湯の温泉を真新しい檜の湯樽に汲み、それを頑強な男数人に担がせ江戸城まで運ばせるようになりました。ちなみに同じく「御汲湯」の歴史がある群馬県・草津温泉は8代将軍吉宗になってからです。

現在でも約90℃と非常に高温の大湯ですが、江戸城に着く頃、湯樽の温泉はちょうどいい湯加減を保っていたそうですから、担ぎ手の健脚ぶりは驚きです。記録では昼夜兼行で15時間、その風景から「熱海よいとこ日の丸たてて 御本丸へとお湯が行く」という唄が生まれました。その後、湯樽は船で運ばれるようになり、8代将軍吉宗公の時が最も盛んで、享保11年から19年までには3640樽送ったと伝えられています。

また、家康公が熱海を幕府の直轄領としたことで土地の治安・風紀が守られ、各地の大名、明治以降も時の要人、軍人、文化人などが頻りに熱海を訪れ、しばしば歴史的会談なども行なわれるようになりました。その伝統は平成13年の日韓首脳会議開催などに受け継がれています。



熱海で始まった 近代温泉地の歴史

- ・温泉分析：明治7年(1874年)
- ・温泉に関する取締規則の制定：
明治16年6月発布
- ・温泉療養センターの設立：明治18年※1
- ・御用邸の建設：明治21年※2

※1 わが国の国立温泉療養センター「嶺南館」は、明治政府の重鎮、右大臣岩倉具視の病氣療養の為に後藤新平、井上馨、長与専斎らが決定し、大湯の隣に建設されました。その後、熱海は歓楽型温泉観光地として発展したので、日本初の温泉療養センターが熱海にできたことは案外知られていません。しかしこの事実は、熱海温泉の泉質の良さを証明する証といっても良いでしょう。

※2 明治時代、新政府になって初めての御用邸が熱海に建設されたことは、温泉だけでなく、熱海が観光保養地として素晴らしい環境にあることを物語っています。

熱海の四大温泉

熱海温泉

国際観光温泉文化都市。設備充実の大ホテルから山間の湯宿まで旅の選択肢は全国屈指。街での食べ歩きも楽しい。

伊豆湯河原温泉 (泉地区)

箱根外輪山から流れ出した藤木川(下流千歳川)沿いに発達し、落ち着いた旅館が建ち並んでいます。

伊豆山温泉

古湯「走り湯」を中心に発展した歴史ある温泉場。相模湾をのぞむ風光明媚な土地に、名建築が数多く残されています。

南熱海温泉 (多賀・網代地区)

江戸時代、港として栄えた網代を中心に、波静かで遠浅の海が続く海岸沿いの温泉郷です。

■旅のお問い合わせは

熱海温泉 ☎0557-85-2222 伊豆山温泉 ☎0557-81-2631 網代温泉 ☎0557-68-0136
伊豆多賀温泉 ☎0557-67-0017 伊豆湯河原温泉 ☎0465-62-5135 初島 ☎0557-67-1400

温泉の作用と効果

科学的作用・効果

温泉に含まれている化学成分が入浴や飲泉によって体内に吸収されることで、身体に様々な薬理的效果を生みます。これらが総合的に働いて、健康のために良い結果をもたらします。

転地効果

温泉地へ移動することによって生活環境が変わり、ストレス解消と精神疲労に効果があって、良好な気候条件が健康の回復に役立ちます。

物理的作用・効果

温熱作用……新陳代謝の促進や、自律神経の調整に効果があります。
水圧効果……圧力により、運動効果やマッサージ効果があります。
浮力効果……身体が自由になることでリラックスでき、リハビリなどに効果があります。

こちらのおおまねぎ この大招牌は、 熱海立ち寄り温泉 の統一サインです。

この大招牌が掲示されている施設では、立ち寄り温泉がご利用できます。徳川家康公をはじめ、多くの著名人に愛された熱海の良質温泉を満喫して下さい。

※料金・時間等は直接施設へお尋ね下さい。
関連パンフレットは市内観光案内所にて入手できます。



温泉入浴豆知識



宿についての直後と、 飲酒後の入浴は要注意

宿に着いて即入浴は?? 避けた方が良いでしょう。ちょっと休んでお茶を一杯。そしてお風呂へ。医学的に到着直後の入浴や飲酒直後の入浴は危険とされています。特に深酒後の入浴は絶対によみましょう。



入浴前には“かけ湯”を

熱いお湯に入る時はよく“かけ湯”をしましょう。身体を温泉に慣らしてから入浴しましょう。“かけ湯”を勧めるのはお客様の身体が汚れていると疑っているわけではありません。



温泉の成分は洗い流さないで!?

温泉の有効成分は入浴によって皮膚から浸透します。かぶれやすい人は別として、皮膚についた温泉を水やお湯(まゆ)で洗い流さないのが、身体に良い効果的な入り方です。



入浴時間は、徐々に長く

入浴時間は、入浴温度によって異なりますが、始めは3分~10分、慣れるに従って延長しましょう。なお、入浴回数は1泊だったら2回~3回位が適当です。

定期温泉実態調査

(平成16年2月調査時)

地区	源泉総数	調査利用泉	平均温度	平均湧出量	最高温度	最高湧出量
熱海地区	345井	181井	66.6℃	57.2ℓ/分	98.0℃	188.9ℓ/分
南熱海地区	59井	23井	56.1℃	147.2ℓ/分	91.5℃	368.0ℓ/分
泉地区	34井	17井	41.3℃	57.5ℓ/分	77.0℃	160.0ℓ/分
伊豆山地区	106井	61井	61.2℃	54.7ℓ/分	75.6℃	139.5ℓ/分
熱海市総計	544井	282井	63.0℃	64.0ℓ/分	—	—

熱海温泉組合

静岡県熱海市中央町1-1
市役所第2庁舎内
TEL 0557(81)2324